

三三〇七番

然しかれこそ 年としの八やとせ年ねんを 切きり髪かみの よち子こを過すぎ  
橘たちばなの ほつ枝えを過すぎて この川かはの 下したにも長ながく  
汝なが心こころ待まて

反はん歌か

三三〇八番

天地あめつちの 神かみをも我あれは 祈いのりてき 恋こひといふものは  
さね止やまらずけり